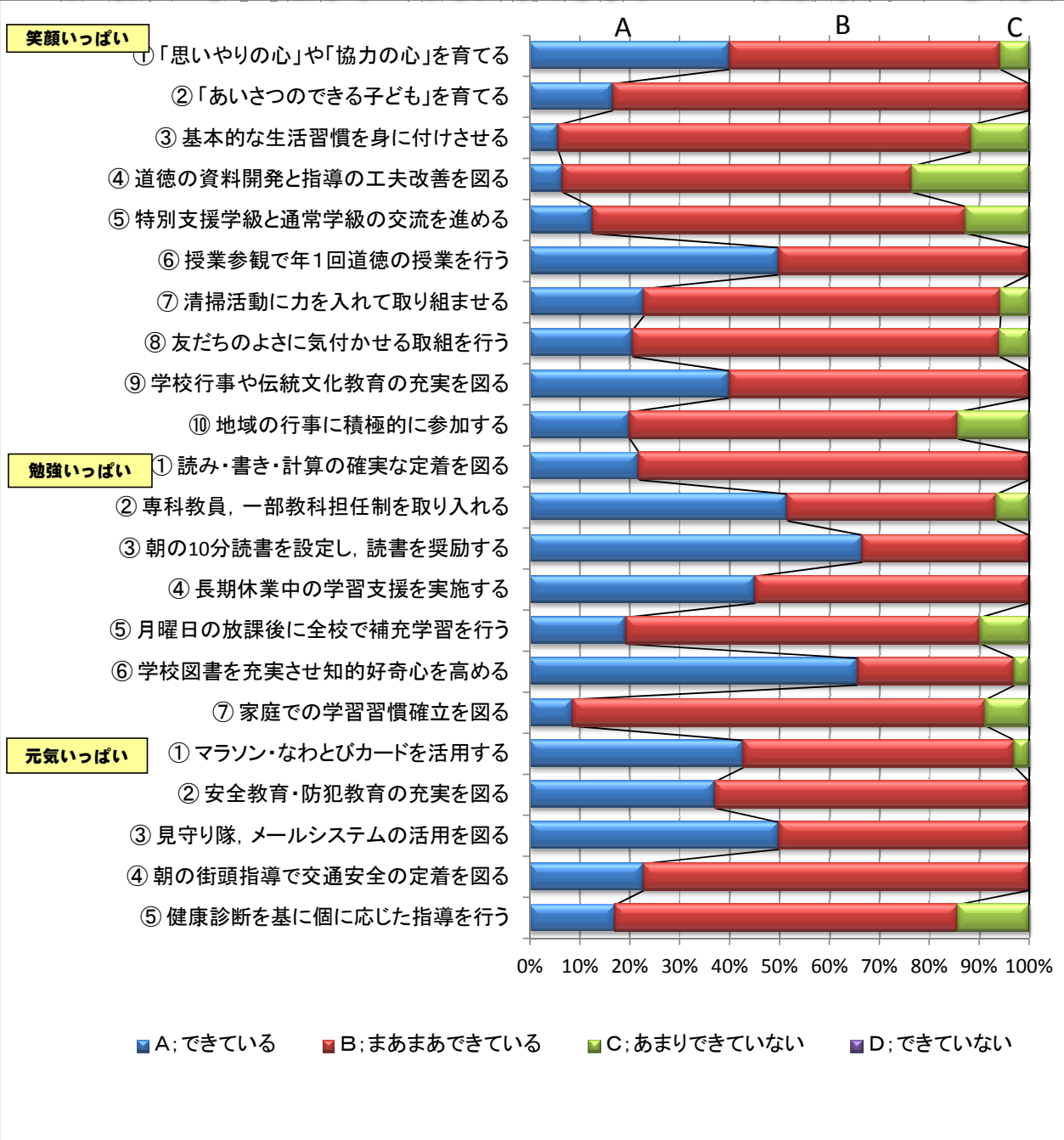


学校自己評価(教職員)の結果と考察



上のグラフは、学校教育目標を具現化する「桜花児童プラン」の達成度について、本校全教職員の評価結果を表したものです。多くの項目で「できています」「まあまあできています」の割合が85%を超え、教育目標を具現化するためのプランに沿って教育活動が営まれたことがうかがえます。一方で、今後の課題も浮かび上がってきました。C評価の多かった「道徳の資料開発」については、研修等を重ねながら子どもたちにとってよりよい資料を工夫していく必要があります。また、A評価の少なかった「生活習慣の定着」「家庭での学習習慣」の確立は、家庭との連携を図りながら具体策を立てていく必要のあることが分かりました。

今年度の「桜花児童プラン」の有効性は、保護者の皆様によるアンケート結果からもうかがえます。平成26年度も、今年度の「桜花児童プラン」に学校自己評価及び保護者の皆様によるアンケート、さらに学校関係者評価の結果を反映させた「新」桜花児童プランを策定し、取り組むことによってさらなる教育効果が期待できると考えます。